

パープルリボンは、女性に対する暴力撤廃運動の国際的シンボルマークです。



第1回パープルリボン・コンサート 出演者募集

>>>女性に対する暴力(DV・セクハラ・他)根絶を目指し、音楽で繋がろう! <<<

11月25日は国連・女性に対する暴力撤廃デーです。その時期に合わせ、DV、セクハラ、性犯罪、他、女性に対する暴力をなくし、女性・男性の良好な関係を築くことを願おうと、音楽を持ち寄って奏でる《第1回パープルリボン・コンサート》を開催します。これは市民参加型のコンサートで、趣旨に賛同する出演者を公募します。舞台では、服のどこかに思い思いのパープルリボンを装着して演奏します。出演者の性別、プロ・アマの別も問いません。出演は次の3種類からお選び下さい。(※本イベントの実行委員も募集中です。)

【1】自由演奏(15分以内)⇒オープンマイク枠

演奏される曲は、クラシック・ポピュラー・民族音楽等、ジャンル不問、楽器・ヴォーカルなど、演奏形態も不問です。冒頭で「その曲を選んだ理由」を手短かに語ってから演奏します。出演料=800円。事前に演奏歴、演奏シーンを事前提出していただきます。10組程度を予定。先着順で締切。

【2】DV防止キャンペーン音楽の公募演奏として参加する。

野村誠[注1]作曲「DVがなくなる日のための『インテルメッツォ(間奏曲)』」(2001)[注2]のピアノ演奏者1名を公募します。練習の上、当日演奏していただきます。演奏時間約6分。

【3】DV防止キャンペーン音楽の歌曲の集団歌唱に参加する。ピアノ伴奏者も公募。

草柳和之[注3]作詞・野村誠作曲『DV撲滅ソング～DVカルタを歌にした』(2014)[注4]。

事前の6回の練習に参加の後、本番で演奏します。演奏時間約12分、全4曲。

練習日程=10/21(pm)、10/28(am)、11/4(pm)、11/11(pm)、11/18(am)、12/2(am)

全土曜日。練習参加費=全1000円。会場、他の詳細はお問合せ下さい。

[日時] 2017年12月2日(土)、13:30～16:45。 [参加費] 300円(出演者不要)

[会場] 聖書キリスト教会:練馬区豊玉北1-12-3

*西武池袋線江古田駅徒歩8分/都営地下鉄大江戸線新江古田駅徒歩5分

[問合先] メンタルサービスセンター:〒176-8799 練馬郵便局留

<http://www.5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/> ☎03-3993-6147

★活動内容問合せ、カウンセリング等は上記にご連絡下さい。



【注2】⇒曲の紹介

草柳和之は、幅広い活動の発展の中で、DV根絶を願う音楽の必要性を思い立ち、自らのピアノ演奏のために、2001年、野村誠氏に作曲を委嘱(作曲依頼)、初演されたのが、この曲。曲名は「DVがなくなる日までの間に演奏される曲」という意味で、「同曲が少しでも早く演奏されないことを願う」という逆説的な意図が込められている。

【注4】⇒曲の紹介

DV防止キャンペーン音楽の委嘱第2曲。DVをテーマにカルタとして編集した《DVカルタ》は、DV問題啓発ツールであり、全44枚の読み札、絵札、解説書から構成されています。その読み札を並べて歌詞として作曲されました。曲は明るく時に大胆、シュールだがおかしい、このミスマッチがディープな音楽体験へと誘います。

■上記2曲の楽譜は、主催のメンタルサービスセンターにて販売しています。詳しくはお問合せ下さい。

【注1】《作曲者紹介:野村誠》

日本センチュリー交響楽団・コミュニティプログラム・ディレクター。インドネシア国立芸術大学客員教授、東京芸大講師等を歴任。2003年第1回アサヒビル芸術賞他の受賞歴がある。共著『老人ホームに音楽がひびく』(晶文社)他多数。エディンバラ大学(英)、マヒドン大学(タイ)、フォルクヴァング大学(独)、等でワークショップを行う。彼の曲は世界20カ国以上で演奏されている。

【注3】《プロデュース:草柳和之》

メンタルサービスセンター代表・カウンセラー、大東文化大学非常勤講師。DV被害者支援に携わると同時に、日本で初めてDV加害者更生プログラムの体系的実践に着手、その方法論の整備、専門家研修の提供等により、この分野をリードしてきた。日本カウンセリング学会東京支部会・運営委員。著書に『ドメスティック・バイオレンス』(岩波書店)他、多数。日本カウンセリング学会認定カウンセラー、社会貢献支援財団より、平成27年度社会貢献者表彰を受賞した。パープルリボン・コンサート運動の提唱者でもある。